



〒965-0871  
会津若松市栄町2-14  
レオクラブガーデンスクエア5F  
☎(0242)93-7950 ■FAX(0242)85-6863  
■E-mail info@terakoyahoujyousha.com



## 「命」を一番大事に すえて考える

学校にゆかないとき、多くの大人が理由を聞きたがりません。なぜ、学校に行きたくないのか知ろうとします。しかし、原因が「学校に合わないから」、「なんとなくゆきたくない」ということでは大人は許してくれません。子どもは、それ以上言えなくなりません。つまり、大人の中で学校に行くことが当たり前になりすぎている事が、子どもを苦しめています。

学校にゆかないけれど塾に

人は元気にふれる



通う、フリースクールに通う子どもは多くいます。彼らは勉強が嫌いなわけでも、病気になるわけでもありません。大人は学校教育を経て、仕事に就く道筋しか知らないのです、それ以外の選択をすることに、不安を覚えます。そして、学校に戻す事だけしか見えなくなりません。大人になるために必要な学びは、たくさんあります。しかし、学校だけでしかなできないものはありません。

子どもは日常からも、たくさんさんの学びを行っています。2017年「教育機会の確保法」が成立しました。学校にゆくことを強制するのではなく、子どもの権利の尊重。休むことの必要性。大人が待つことの重要性が書かれています。(検索して読んでみてください)いま、「ここにある命が大事」「命があることを当たり前だとは思わない」生きる事を大切にする事が法律制定の原点です。

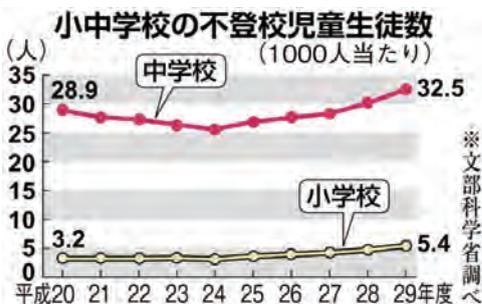
# 子どもを受け止める親のために

特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎 大関 勇氣

## 不登校は誰にでも 起こりうること

寺子屋方丈舎は、学校外の子どもの学びの場所として1999年に設立したフリースクールです。現在、7歳から21歳までの受け入れをしています。不登校の子どもに対して、この20年間さまざまな政策を行いました。減りませんでした。

現在、全国で不登校の小中学生は14万人を超えています。不登校は、「心の病気」のように言われますが、学校生活、制度に合わないのが、登校を強制することでは解決はしません。むしろ、休養が必要であるという見方が一般的です。



2017年度の問題行動・不登校調査(文科省実施)によれば、病気や経済的理由以外で年30日以上欠席した不登校児童生徒数は、小学校で185人に1人(0.54%)、中学校で31人に1人(3.25%)です。